

大台警察署協議会議事録

令和7年度第2回大台警察署協議会	
日時 場所	令和7年9月25日（木）午後1時30分～午後4時15分 大台警察署1階 災害対策室
出席者	<p>1 警察署協議会委員 4名 小倉桂吾委員、楠川洋委員、久保香里委員、野呂茂生委員</p> <p>2 警察署 6名 署長、副署長、会計課長、生活安全刑事課長、地域交通課長、警備係長</p>
傍聴者数	なし
公開・非公開の別	公開
議 事 概 要	
<p>1 警察署長挨拶</p> <p>2 管内治安概況等説明</p> <p>(1) 管内治安概況説明（警察署長）</p> <p>(2) 質疑応答</p> <p>ア 特殊詐欺について</p> <p>＜委員＞ 特殊詐欺の検挙は難しく、大台署に限らず全国的な課題だと思う。ほとんどが電話やスマートフォンを通じての詐欺と思われる、その対策が一番の肝で、あとは一定額以上は振り込めないなどの物理的な対策を並行してする必要があると思う。</p> <p>＜委員＞ SNSを運営している会社が、AI等を使って詐欺を除外するような仕組みが必要だと思うし、SNSでの警鐘CMをもっと流してはどうか。</p> <p>【署長】 警察として、被害額が大きくなる投資詐欺は、未然防止の様々な取組を行っている。</p> <p>イ 署管内発生事案について</p> <p>＜委員＞ 資料の中で行方不明が4件発生しているが、これは発見されているのか。</p> <p>【生活安全刑事課長】 発見されている。</p>	

3 第1回協議会における意見に対する取組状況説明及び質疑・応答

(1) 取組状況説明（警察署長）

特殊詐欺による被害防止の取組み

ア コンビニエンスストアにおける水際対策の強化について

イ 自動通話録音警告機購入時における補助金制度の拡充に関する自治体への働きかけについて

ウ 特殊詐欺による被害を防止するための物理的な方法及びSNSを活用した広報・啓発について

(2) 質疑・応答

＜委員＞ いわゆるガラケーの終了に伴い、役場で高齢者対象のスマートフォン教室が開催されると思う。その際、特殊詐欺の被害防止の啓発も行ってはどうか。

【署長】 様々な機会を活用し、特殊詐欺被害防止に努めていく。

＜委員＞ 70歳以上の方が一定額の振り込みができないというのは、全国的なものか、三重県だけか。

【署長】 振り込み機能の利用制限は、三重県内に本店を置いている金融機関で、いわゆるメガバンクは行っていない。

引き出し制限の導入は、県内に店舗を置くメガバンク等も対象になっている。

＜委員＞ 郵便局はどうか。

＜委員＞ 郵便局では、75歳以上の方はATMで100万円以上を出金することができない。窓口で免許証等を呈示する必要がある。また、それ以上の額を出金するとなると、1週間以上前に連絡する必要がある。

【署長】 委員御発言のとおり、物理的に出金できなくするということの方が大事ではないかと考える。今後も金融機関と連携しながら対策を行っていく。また、前回の協議会において、特殊詐欺の電話が沢山ある中で、「よくこれだけに被害額を押さえ込んでいる。」という発言が出たため、そういう視点で、街頭活動の際に「被害を抑えられているのは地域住民の皆さんの意識が高いからで、引き続きよろしく願います。」と声掛けをするよう署員に指示した。

＜委員＞ ターゲティング広告は、三重県警察だけか、それとも全国的なものか。

【署長】 ターゲティング広告は、三重県警察独自の施策で、今年の6月から来年の3月31日までの10か月間実施する。

4 協議テーマ「高齢者の交通事故防止」について

(1) 交通事故発生状況等説明（地域交通課長）

(2) 質疑・応答

＜委員＞ 電気自動車等と同じように、国の補助でサポートカーを利用できれば、免許の自主返納を数年間延ばすことができるようになるのではないか。

【署長】 交通事故防止には有効であるため、補助金制度があればもっと装備しやすくなると考える。よって、何か方法がないか検討していく。

自動ブレーキは、何か障害物があればブレーキが作動して手前で止まれると思われがちだが、飽くまで補助的なものであって、必ず止まるとは限らない。CMでは直前で止まって良かったとなっているが、実際はぶつかるケースも見受けられる。

今の時点では、ドライバーのしっかりとした運転が必要で、間違いのないようにしていただくほか、安全教育等において、この点も説明していく。

＜委員＞ 私もブレーキとアクセルを踏み間違えたことがある。高齢者という定義が難しいが、高齢者になると冷静な対応ができずに、パニックになると思うが、そのような状態にいつなるのかが分からない。また、車種によってはボタン一つで前進と後退を操作する車もあると聞いている。

【署長】 アクセルとブレーキの踏み間違い事故は、高齢者が多いと感じる。ニュース等でコンビニに車が突っ込んだという事故のほとんどが高齢者の方である。

高齢者の方にはこのような事故が多いということを、引き続き、啓発や指導を行っていく。

＜委員＞ 横断歩道以外での事故が増えているということであるが、これは、横断歩道以外の場所での事故が増えているということか。

【地域交通課長】 交差点や横断歩道でない場所、つまり、道の真ん中で渡り始めるという状況である。

交差点や横断歩道であれば、歩行者の優先と十分な確認により、安全に渡っていただくというのが大原則である。

＜委員＞ 交通事故発生状況の人身事故のうち、令和6年度の高齢者の事故件数が2件だったのが、令和7年度は8月末現在で6件と多くなっている。この原因を知りたい。

【地域交通課長】 全て大きな事故ではなく、駐車場等での事故が多いが、追突や出会い頭での事故も多い。

＜委員＞ 寿命が延びて、免許を持っている高齢者も増えているということだと思うが、高齢運転者の事故対策は、今後も取り組んでいかなければならない課題と考える。

【署長】 交通死者全体にも言えるが、半数以上が65歳以上の高齢者であり、高齢者の方の対策が非常に重要と考えている。

引き続き、指導・啓発を行っていく。

5 警察署長謝辞

6 視察

大台警察署南側「上三瀬ヘリ離発着場」において、三重県警察航空隊所属のヘリコプター「航空すずか」による離発着訓練を視察、また、機体見学の後、同航空隊員による航空隊の活動状況について説明を受けた。

備 考	報道機関1社1名
-----	----------